

都市基盤を再編した公園の整備方針

久屋大通公園の再生は、栄地区全体へ賑わい効果を波及させるリーディングプロジェクトとなります。これまで以上に市民や国内外からの観光客が利用しやすい公園とするため、全面的な再整備を行いました。

① 健全な樹木環境の整備

既存樹木の健全な育成環境に向けた密度調整を行うとともに、四季折々の表情を楽しめる木々を新植します。新たに整備される芝生広場には礫間貯留層と呼ばれる基盤材を設け、保水と浸透作用による緑の良好な生育環境としての機能を向上させます。



2月～5月頃までの長い期間眺めることができる8種類のサクラ類の新植を含め、四季折々の表情を楽しむことができる植栽計画



水盤ミスト演出イメージ



デジタルサイネージイメージ



敷地配置図

② 誰もが利用しやすい公園

新たに整備される約1万㎡におよぶ多目的の広場は、来園者が思い思いの時間を過ごせる空間であり、災害時には一時的な広域避難所として利用することができます。様々なアクティビティにも活用され、イベントの実施や文化・交流の促進につながる機会を提供します。公園内には地下街の「セントラルパーク」と公園をつなぐエレベーターとエスカレーターが新設され、動線と舗装の再整備によりバリアフリーでのアクセスが確保されます。公衆トイレ、ベンチ、照明等も全面改修し、安心安全でだれもが利用しやすい公園として生まれ変わります。



芝生広場のアクティビティイメージ

③ 観光の拠点として

名古屋を代表する新たなスポットとして、全長80mの大きな水盤を設置します。夜には照明や音楽による印象的な空間演出を行うことを予定しています。また、国内外の観光バスを受け入れる乗降場を整備し、タイムズ24(株)のWEB予約システムの導入と運営管理により利便性を高めます。地下街(「セントラルパーク」「森の地下街」と地上をつなぐ空間には約295インチの大型デジタルサイネージを設置し、イベントの開催や情報発信を行います。その他主要サインの多言語対応や、アートベンチの設置などを行います。



アートベンチイメージ